

平成29年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	ユニバーサルなまち・長野でおもてなし～皆で幸せになるために～
事業主体 (連絡先)	信州ユニバーサルサポーターズ 長野市上松 2-6-13
事業区分	
事業タイプ	ソフト・ハード
総事業費	1, 835, 943円 (うち支援金: 1, 432, 000円)

事業内容

現在長野県が進めている障害の有無に関係なく旅や観光を楽しむ「ユニバーサルツーリズム」の動きに伴い、誰もが楽しめる「ユニバーサル観光地ながの」のために障害者向けのアクセシビリティ定着を目指して、アウトドア用車イスの体験会の実施。それに伴い、体験会でのシニアボランティアを育てるための「信州あいサポーター研修」を実施。冬はデュアルスキー体験会を実施。

- * 善光寺びんずる市・飯綱霊仙寺湖畔・戸隠奥社・白馬五竜でのアウトドア用車イス体験会実施
- * 信州あいサポーター研修の実施



【 戸 隠 奥 社 】

【目標・ねらい】

- ①ユニバーサルツーリズムの拡大
- ②シニアボランティアの育成
- ③地域でのおもてなしの心
- ④皆が幸せになる共生社会の定着

事業効果

- ① 北信地域ではまだ認知が進んでいなかった「ユニバーサルツーリズム」を、各地でアウトドア用車イス体験会・デュアルスキー体験会を実施することで広く知ってもらうことが出来た。
- ② あいサポーター研修を実施し、特にシニア世代の方々やガイド協会の方々に興味を持って参加を頂き、その後のアウトドア用車イス体験会への結びつけることが出来た。
人生100年時代を迎え第二の人生をどのように充実させるか、人生二毛作にボランティアをとということをあらためて提言出来たと考える。
- ③ 障害をお持ちの方々にとどのように接したらよいかをあいサポーター研修で知っていただくことで、地域に観光で訪れた方々へのおもてなしに活かしてもらう道筋を作れた。
- ③ あいサポーター研修の中で「障害者差別解消法」を取り上げることで、障害の有無に関係なく共に生きる社会の定着という考えを広く知って もらうことが出来た。研修を受けた方々の実行力に期待したい。

※自己評価 【 A 】

【理由】

- ・アウトドア用車イス体験会前のあいサポーター研修に遠方からの方も含め大勢の方に参加をいただいたこと。
- ・アウトドア用車イス体験会・デュアルスキー体験会に実際に障害をお持ちの方々に体験して頂き、喜んで頂けたこと。
- ・北信地域での「ユニバーサルツーリズム」の認知度拡大に貢献出来た。

今後の取り組み

「ユニバーサルツーリズム」を観光の重要な要素のひとつとして拡大定着させていくためには、「あいサポーター研修」が有効な手段のひとつとして考えられるので、引き続き体験会と組み合わせ実施し、人材育成に取り組みたい。
シニア大学で活動の取り組みを報告させて頂いたことから、シニア世代へ積極的なボランティア参加を促していければと考えている。
地域づくりにはその地域の方々のおもてなしが不可欠であり、長野が国際観光地としてさらなる魅力あるまちとなるためには、よりユニバーサルな街づくりが求められているし、避けては通れない事柄である。
誰もが気持ちよく訪れることが出来る観光都市を目指すために、その一助となるよう引き続き意識啓蒙と体験会などの活動に取り組みたい。

※ 自己評価欄は、地域活性化に及ぼす事業効果について、以下から選択のこと。
「A」：予定を上回る効果が得られた 「B」：予定していた効果が得られた
「C」：一定の事業効果はあったが事業実施方法や今後の活用等について、工夫や改善を要する点がある